

## 消費者物価上昇

41年ぶりに4%

12月、値上げ拡大

総務省が二十日発表した二〇二二年十二月の全国消費者物価指数(二〇年=100)、生鮮食品を除くは、前年同月比4・0%上昇の一〇四・一だった。上昇率は第二次石油危機の影響が続いていた一九八一年十二月以来四十一年ぶりの高水準となった。資源や食料価格の高騰、円安による輸入物価の上昇を背景に、十一月の3・7%から一段と物価高が加速。上昇品目は全調査対象の八割に拡大した。今年一月以降も食品値上げが相次ぐ予定で、家計を圧迫する状況が続く。

## ●関連面

上昇は十六カ月連続。二

〇二二年四月以降は政府、日銀が目標とする2%を上

回って推移しており、ついに二倍の水準に達した。二年の平均は前年比2・3%上昇の一〇三・一だった。消費税増税の影響を除くと、一九九一年以来三十二年ぶりの伸び率となった。二〇二二年十二月の内訳は、エネルギーが15・2%上昇した。電気代が21・3%、都市ガス代が33・3%、ガソリン代も1・6%伸びた。